

令和3年9月28日

電気洗濯機のモーターリード線の断線による火災

1 出火日時

5月〇〇日 午後5時〇〇分

2 火災概要

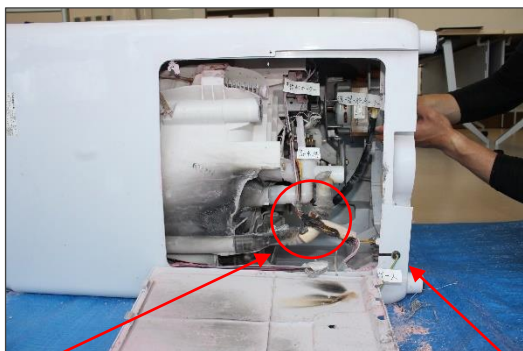
洗面場で使用中の洗濯機の下から赤い光が見え、「パチパチ」と音がしているのを発見した。鍋等で水をかけたが消えなかったため、洗濯機を完全に倒し、消火器で初期消火に成功したことから、焼損物件は当該洗濯機のみであった。

3 原因概要

洗濯機使用時の振動によりモーターリード線の被覆が損傷し、徐々に半断線状態となり、素線が発熱し全断線に至り、スパークにより発生した火花が防音緩衝材に着火したもの。なお、当該電気洗濯機はリコール対象製品であった。(モーターリード線が運転中の振動によって断線するものがあり、最悪の場合、発煙・発火する恐れがある。)

4 教訓

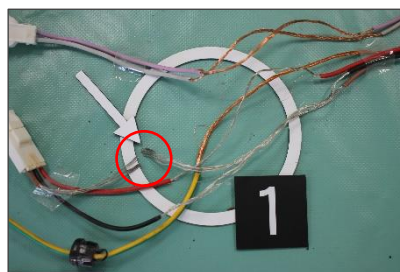
利用者によると、約5カ月前から脱水の調子が悪かったとのことで、火災当日は15分で終了する「スピードコース」で洗濯していたが、30分以上経過しても運転中であり、その後火災に至ったとのこと。電気製品について、電源が途切れる、いつもより時間がかかる、パワーが弱い等の時は、電源コードや内部のリード線が半断線の状態になっている可能性があるため、販売店やメーカーに相談することが大切です。また、リコール等の重要な情報が自分に届くようにするため、ユーザー登録をしましょう。



▲モーターリード線付近の焼損状況

モーターリード線とアース線を束ねる防音緩衝材が排水ホースに触れているため、常に配線に振動が伝わる状況

アース線が固定され引っ張られている



▲モーターリード線のうち1本が断線している



▲断線部分をマイクロSCOPEで拡大

担当：予防課

連絡先：0226-22-6693